

2009年5月25日

学生・教職員各位

酪農学園大学・酪農学園大学短期大学部
学長 谷山弘行

新型インフルエンザ感染防止対応について（通知）

本学では、4/30以降海外への渡航の自粛・制限、帰国後の出校停止・自宅待機などをすでに実施してきましたが、現在は国内での二次感染確認により「新型インフルエンザ対策行動計画」（以下、行動計画）では第二段階「国内発生早期」となっています。ついては「感染拡大期、蔓延期」の直前状況とも想定され、以下のとおり継続して感染防止を励行するとともに自粛・制限について通知します。

緊急の対応等発生した場合は、酪農学園感染症危機管理対策本部（以下、対策本部）により全学的な対策を提示していくこととなります。

1. 感染防止対策 2009/04/30～6/30

- (1) 学生及び教職員の海外への渡航は制限（延期又は中止）します。私的旅行についても自粛を強く要請します。ただし、やむを得ず実施が必要な渡航については、外務省の渡航制限情報等を参考にして学長が判断します。
- (2) 発生国の留学生、教職員に対して、注意・予防を指導します。
- (3) 海外からの帰国者に対して、7日間程度の出校停止（自宅待機、検温、経過観察及び医務室への報告）を実施します。（5/13追加）
- (4) 感染拡大国への渡航については、継続して慎重に判断します。（5/13追加）
- (5) 学生及び教職員の不要・不急の国内移動は自粛を要請します。やむを得ず実施する国内移動に際しては、各自予防（うがい、手洗い、マスク、外出自粛等）を徹底してください。帰着後は各自体調管理に留意し発熱等ある場合は、最寄りの発熱相談センター及び医務室に報告し、ただちに医療機関を受診して自宅療養に努めてください。（5/22追加）

※上記の適用は、流行状況を確認するため6/30までとしますが、国内感染状況の推移及び症状等に関する新たな知見が概ね判断された場合は、教育研究活動に支障のない範囲で都度方針を修正します。

2. 予防と対処

予防はもっとも重要です。感染防止のため日常生活の中で励行下さい。

- (1) 「マスクの着用」「頻繁な手洗い」「うがい」を心がけましょう。
- (2) 咳やくしゃみをする際には、「咳エチケット」を守りましょう。

※咳エチケットとは？

- ・咳やくしゃみをする時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周囲の人から顔をそらせましょう。

- ・使用したティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
 - ・不必要に周囲に触れないように注意し、すぐに手洗いしましょう。
- (3) 体調管理に気をつけましょう（十分な休養・バランスの良い食事・人混みを避ける）
- (4) 発生地域から戻られた方で、急な発熱など心配な症状がある場合は、直接病院に行く前に、まず最寄りの保健所などに置かれている「発熱相談センター」に電話相談して指示を受けて下さい。万一新型インフルエンザを疑われたら、本学医務室まで連絡をください。

3. ホームページ等の確認

学生・教職員への新型インフルエンザ対応に関する情報は、学内掲示・メール通知の他、本ホームページにも掲載していきます。行政機関等の緊急な要請などがあった場合のため、掲示やホームページの日常的な確認をお願いします。

4. 問合せ、連絡先

(学生) ————— 学生課(011-388-4122)、医務室(011-386-1024)
(教職員他構成員) ———— 総務課(011-388-4111)、学事課(011-388-4153)

5. 参考

○外務省海外安全ホームページ

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

○厚生労働省感染症情報ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou.html>

○北海道 発熱相談窓口「保健福祉部保健医療局健康安全室」 TEL011-204-5253

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kas/butainfulpage.htm>

江別保健所（石狩保健福祉事務所保健福祉部）子ども・保健推進課 TEL011-383-2111

千歳保健所（石狩保健福祉事務所千歳地域保健部）健康推進課 TEL0123-23-3175

岩見沢保健所（空知保健福祉事務所保健福祉部）健康推進課 TEL0126-20-0115

○新型インフルエンザ対策行動計画

<http://www.cas.go.jp/jp/influenza/keikaku.pdf>